

第1回 長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会議事録

[日 時] 令和4年3月29日（火）10：00～12：00

[会 場] オンライン会議

[出席者] 専門委員 5名
オブザーバー 1名
長野広域連合 6名
八千代エンジニアリング株式会社 3名

委員会議事録概要

1. 開会

2. 局長あいさつ

3. 委員及び事務局紹介

4. 正副委員長選出

委員長として梅崎委員、副委員長として藤吉委員が選出された。

5. 議題

(1) 報告事項について事務局から説明後、意見を伺った。

ア 委員会開催要領

特になし。

イ 長野広域連合について

特になし。

ウ ごみ処理の現況について

【委 員】小布施町が広域連合の構成市町村に含まれているが、後述するごみ処理体制には含まれていない。

【事務局】小布施町のごみ処理は北信保健衛生施設組合で行っているため、広域連合のごみ処理体制には含まれない。

【委 員】長野市のごみ処理体制図に粗大ごみの区分がない。

【事務局】粗大ごみの分別区分はあるが、ごみ処理体制図では粗大ごみは可燃ごみに含まれるものとして整理している。

エ 候補地選定のこれまでの経過について

特になし。

オ 次期一般廃棄物最終処分場について

- 【委員】クローズド型最終処分場の埋立面積を算定する際に用いる平均埋立高がオープン型最終処分場より高いのはなぜか。
- 【事務局】平均埋立高は、同程度の計画埋立容量を有する他自治体における一般廃棄物最終処分場の埋立容量及び埋立面積より設定している。クローズド型最終処分場の場合、覆蓋施設が高額となるため、埋立面積を縮小するために埋立高を高くする傾向にあり、オープン型最終処分場に比べて埋立高が高くなっていると推察される。
- 【委員】建設予定地の地形状況や敷地面積に応じて埋立高・埋立面積が異なることから、候補地の抽出条件となる敷地面積は柔軟に対応出来るようにした方がよい。また、法的条件とは別に、地勢関係の項目等、土地条件の表も追加してほしい。
- 【委員】地球温暖化対策としてごみ処理のあり方を根本的に見直す動きがあり、生ごみの資源化、プラスチックの資源化など大きなシステム変更となる可能性の中で、溶融スラグの資源化等に関してもどのような計画の元で意思決定をするのかなど、可変性のある条件設定の方法はどのようにお考えか。
- 【事務局】国の方針を踏まえた構成市町村の取り組みを見据えながら、次期一般廃棄物最終処分場の整備計画を検討していく。
- 【委員】将来的に灰溶融を行わない可能性があることについて、地元には丁寧な説明が必要である。
- 【事務局】現状がベストだと考えているが、現時点では、施設稼働から20年以降は灰溶融による資源化を行わない想定で計画埋立容量を算定する。地元にも丁寧な説明をしていく。
- 【委員】候補地を決定する令和7年度までにボーリング調査等の詳細調査は実施するか。地下水や地質のデータに関しては、設計上も必要になるのではないかと考える。
- 【事務局】候補地選定の段階では土地所有者と調整を図ることが難しいため、ボーリング等の調査は想定していない。第2回委員会では、事務局で事前に実施する現地調査結果や文献調査結果の報告と合わせて、委員の皆様にも現地を確認していただくことを予定している。
- 【事務局】候補地決定後は本格的な調査を実施することとなるが、今回はその前段階であり、地元の理解をいただくための調査と位置付けている。
- 【委員】現況報告においては、地形地質等に関して図化した資料を提示してほしい。
- 【委員】候補地決定までの過程として、地元へ納得いただくことが大事である。施設整備スケジュールでは候補地選定と併行して地元説明を行う計画としているが、現時点ではどのように考えているのか。
- 【事務局】各候補地について、どういった土地なのかを調査したい旨の説明を地元へ説明するとともに、今後も進捗状況の報告などを予定している。
- 【委員】地元からの意見などは委員会に提示していただけるのか。
- 【事務局】地元説明後のフィードバックを委員会で報告させていただきながら進めていく。
- 【委員】広域連合の各計画との関連性、例えば本委員会での意見が各計画に反映されるのかという点を伺いたい。

【事務局】現計画に沿って、次期処分場の適地となり得るか議論いただき、その結果については次の計画へ反映させていくことになる。

【委員】埋立終了後の水処理について、埋立物によって期間が決められていたり、期間が長くなることは考えられるか。

【事務局】埋立物によって期間が設定されるものではなく、成分分析の結果、安定化が図られているかで判断するものである。また、埋立物によって、水処理の安定化まで時間がかかることは十分考えられる。

(2) 協議事項について事務局から説明後、意見を伺った。

ア 協議事項及び委員会開催日程について

【委員】第2回委員会では、現地確認の際にどのような視点で現地確認を行うべきか把握するため、評価項目・評価方法（案）を提示してほしい。

【事務局】評価項目・評価方法（案）を提示する。

【委員】本委員会の内容（議事録）の取り扱いはどのように考えているか。

【事務局】本委員会の内容は、広域連合のホームページにて議事録により公開する。

【委員】候補地の評価を行う際には、土地利用状況を評価項目に含めた方がよい。

【委員】候補地の評価を行う際には、環境影響評価に関する内容を評価項目に含めた方がよい。

【委員】委員の現地確認を実施する前に、評価項目や評価基準等の概要を提示してほしい。

【事務局】現地確認の前に評価項目等の概要を提示したいと考えている。

【委員】最終候補地は1箇所に絞り込むのか。

【事務局】最低でも1箇所という意味で、複数の候補地でも構わないと考えている。

6. 連絡事項、その他

特になし

7. 閉会

以上